



二之江と二之江第三の子供たち！



令和元年12月11日 第2号

二之江小学校 校長 大須賀慎一

二之江第三小学校 校長 鈴木 厚子

～第5回学校改築懇談会を終えて～

11月18日（月）には二之江小学校で学校改築懇談会が行われました。この懇談会は、二之江小・二之江第三小のそれぞれの町会・学校評議員・PTA役員の皆様と教育委員会並びに学校改築に関わる部署の方々との意見交換を行うものです。昨年度から行われ、今回が5回目の懇談会となりました。議事の内容の中心は、二之江小学校の新校舎改築に向けて、改築設計を担当するシーラカンズアンドアソシエイツの担当者から基本設計案を示されました。設計のコンセプトは「100年にわたって地域を見守り、ともに育てていく学校」とし、メディアラーニングセンターと中庭を中心とした多様な学びの場や、風と光を活かし、敷地のポテンシャルを最大化に行うなど、新しい学校としての要素をたくさん含んでいます。また、地域の環境を生かした未来へつながる地域拠点とし、地域防災の核となる防災テラスを設置するなど、地域における学校の役割を十分に理解したコンセプトとなっていました。懇談会に出席された方からは、「新しい学校としての役割を期待する。」とした意見の一方、「校庭の敷地面積は広がるのか。」「校舎の向きによって、子供たちの生活環境はよくなるのか。」と、今後の具体的な設計にあたって、学校と設計業者との連携を十分に図らなければならないことを改めて認識しました。

学校統合に向けて、このような改築懇談会、統合に向けた合同会議を定期的で開催しております。また、各学校から統合に向けて保護者・地域の皆様へ様々なお願いやご協力をいただくことも多くなってきました。両校では、できる限り、新しい情報を迅速かつ詳細にお伝えできるよう準備してまいりますので、ご理解とともにご支援をお願いいたします。

展覧会の児童交流活動



6年生は、「子ども学芸員」として、各学年の作品の説明を行いました。



5年生も「子ども学芸員」として、作品を説明しながら交流しました。



2年生は、ペープサートを使って作品をと
おして遊ぶことができました。



4年生のものすごい緊張感からの、大きな
笑顔に変わっていく様子が見られました。

二之江小学校（以下 二之江）の展覧会に、二之江第三小学校（以下 二之三）の児童が来てくれました。二之三の子供たちを迎えるにあたって、体育館前で待つ二之江の子供たちからは、「どきどきするな。」「うまく説明できるかな。」と楽しみ半分、不安半分の様子でした。二之三の子供たちが来て、二之江の子供たちとグルーピングして体育館に入っていました。自己紹介から始まり、二之江の各学年の作品を紹介する中で、二之三の子供たちから質問や感想を聞くことができました。1年生は、一緒につくった「ぺったんこのおさらづくり」に、目がキラキラ輝いて見ていました。2年生は「ぼくたちわたしたちのキラキラ時間」のペープサートを持って来て、二之江の子供たちの絵の中に二之三の子供たちの絵が入り、一緒に遊ぶ様子が見られました。3年生の「あらわれたにのえくんのにのえさん」も、二之三の子供たちが人形を持って来て、一緒に遊ぶ様子が見られました。展覧会の鑑賞をとおして交流する中で、互いに打ち解けていく様子がわかりました。ある児童からは、「統合が楽しみになってきたな。」という声が聞かれました。展覧会の「静」の場が「動」に大きく変化した児童交流となりました。

（文 二之江小学校 校長 大須賀慎一）

持久走記録会 練習を通して

二之江小にて1年生が練習

二之江三小にて3年生が練習



今年度の持久走については、両校での合同開催も検討してきましたが、参加・参観人数と実施場所の関係において安全面について配慮すること、児童交流を通して丁寧に練習を進めていくことを中心に考え、学年ごとの練習を交流する形で進めました。

「子供は風の子 元気な子」という言葉通り最後まで粘り強く、自分のもてる力を発揮しながら取り組みました。「また来てね」の声かけが印象的でした。

（文 二之江第三小学校 校長 鈴木 厚子）